

どれだけ速く登れるか、硫黄岳

3月2日（日）吉田（広）

ここ半年、ダイエットが行き過ぎてジョギング中毒症状が出始めてしまい、休みの日となれば10キロ、20キロと走る距離が伸びています。そんな中、初めての雪山が硫黄岳ということもあり2004年の時とどれくらい違うのか、体力を試す意味で、無理をしない程度に歩く速度を上げて登ってみることにしました。もっとも、仕事で参加できなかった会山行の天狗岳を硫黄岳から見てみよう、というのが一番の目的ですが。

朝は4時15分に起床、30分に自宅を出て、中央道経由で美濃戸まで。駐車場には7時過ぎに到着、駐車場には20台位の車両が所狭しと駐車してありました。

赤岳鉱泉までは北沢を通りました。雪はまあまあの積雪で、ルートは夏よりも歩きやすいくらいにトレースがばっちりついていました。

1時間ちょっとで赤岳鉱泉につき、休憩もほどほどにすぐに硫黄岳を目指します。途中、下山してくるパーティには出会いましたが、それほど多くはなく、皆さんに「頂上の景色は最高だよ～」と声をかけてもらいました。久しぶりの硫黄岳がますます楽しみになってきます。

稜線に出ると天狗岳が見えました。温度計を見るとマイナス10℃を指していましたが、スピードを上げて歩いたせいかな寒さは一切感じず、毛帽子もかぶらず、ヤッケも着ず、薄手袋に腕まくりという格好で硫黄岳への道を歩いていると、下山してきた目出帽にオバ手、ヤッケといったフル装備のパーティから驚いた目で見られてしまいました。

そして美濃戸からちょうど3時間の10時30分に頂上に到着。頂上にはやはりフル装備の方が一人しかおらず、絶好の天気割には人が少なかったです。硫黄岳から天狗岳を見るとあまり人がいないようで、カメラのズームを使っても、東から西天狗へ行くパーティが見えたくらいでした。頂上では写真を適当に撮り、20分くらいで下山を開始。硫黄岳の稜線から樹林帯へ入るところで、尻セードを楽しみ（雪山に来たらできる限りやってます。）、11時30分に赤岳鉱泉に戻ってきました。赤岳鉱泉では人工氷壁（アイスクャンディーというらしい）で大会のようなことを行っていて、盛り上がっていました。

まだまだ体力があり余っていたので、アイゼンを外し美濃戸まで走って帰ることに決め（この時で既にジョギング中毒症状が出てしまいました）、トレースばっちりの北沢を軽いジョギングくらいのペースで走ったり歩いたり、赤岳鉱泉を出て45分、12時30分に下山しました。

あとは雪山教室組と合流するつもりでしたので、なんとなく渋ノ湯の方へ車を走らせていると、妻から電話があり、諏訪南IC近くの「河原の湯（400円くらいだったような気がします）」へ向かい、汗を流して帰りました。

頂上から雪山教室に参加している皆さんを写真に撮ることはできませんでした（硫黄岳に着いた2時間も前にすでに天狗の頂上に着いていたようです）が、4年ぶりに登る硫黄岳も、なんだか新鮮な感じがして楽しかったです。

時間経過

美濃戸 7:30～赤岳鉱泉 8:45～硫黄岳頂上 10:30～赤岳鉱泉 11:45～美濃戸 12:30

行動時間 5時間（休憩含む）